

角野栄子氏講演会「魔法はひとつ」報告

日時：平成22年10月11日（月・祝）午後1:30開演
会場：三条東公民館 多目的ホール1

入場者:111名（整理券配布枚数 230枚 整理券回収枚数 101枚）

アンケート結果（ご来場の方に入り口にてアンケート用紙を配布し、出口にて回収）
回収 86枚（各設問において未回答、複数回答あり）

1. あなたの性別と年齢を教えてください

	0～10歳	11～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	61～70歳	71歳～	計
男性	0	0	0	2	1	1	1	1	6
女性	5	2	4	5	24	15	4	9	68
性別不明	0	1	0	1	0	4	3	3	12
計	5	3	4	8	25	20	8	13	86

2. お住まいの地域を教えてください

三条市内				燕市	田上町	加茂市	新潟市	魚沼市	計
三条地区	栄地区	下田地区	地区不明						
59	2	2	11	2	2	4	2	2	86

3. この講演会を何で知りましたか

市の広報	ポスター・チラシ	ホームページ	新聞・雑誌	図書館のおしらせ	家族、知人から	計
54	8	2	6	24	7	101

複数回答あり

4. 本日の講演はいかがでしたか？

大変満足	満足	普通	少し不満	不満	記入なし	計
30	30	13	7	0	6	86

7. ご感想をご自由にお書きください。

肯定的意見

- ・楽しかった。
- ・楽しみにしていたので、うれしかった。
- ・小さい頃から『魔女の宅急便』が大好きだったので、うれしかった。
- ・おはなしが素敵だった。
- ・「魔法はひとつ」の意味が心にしみた。励まされた。
- ・心の動き、ささやき、持ち方、について改めて考えさせられた。
- ・想像の世界の大切さを感じた。
- ・角野先生の人柄、創作、読書への姿勢に深く感じ入ることができた。
- ・すぐ近くで（角野先生の）肉声が聞けてよかった。
- ・インスピレーションを受ける話がおもしろかった。
- ・作品ができるまでのエピソードが聞けて、楽しかった。
- ・作品への愛情がうかがえた。
- ・『魔女の宅急便』が好きで聴きにきた。未読の巻を早く読みたくなった。
- ・先生が素敵だった（ファッション、若々しさ）。
- ・好奇心一杯で楽しく人生を過ごしてこられたことが、そのまま作品につながっていると感じた。
- ・子ども達に（作品を）読んで聞かせたい。
- ・（こういう講演会を）また企画してほしい。
- ・全国で活躍している方をどんどん呼んでほしい。
- ・介護に疲れているときだったが、ワクワクすることを見つけて、少しでも介護を楽しむようにしたいと思った。

否定的意見

- ・もう少し声が大きいほうがよかった。
- ・ピンマイクの声が耳になじむのに時間がかかり、最初の部分が理解できなかった。
- ・音声、特に語尾がはっきり聞き取れなかった。
- ・もっと、絵本を読んでほしかった。
- ・子どもを連れてきたので、絵本の紹介だけでなく、読み聞かせが入るとよかった。
- ・講演の内容が著書の解説のようで、あまり興味なかった。現実的な話を聞きたかった。
- ・本の紹介だけではなく、もう少し先生の人生観、子育て観などを話してほしい。
- ・現実にはほど遠い夢みたいな話で、あまりピンとこなかった。
- ・（講師が座っての講演だったので）中間席からは、講師の姿を頭しか見るができなかった。
- ・長すぎた。質問時間は、もっと多くしてほしい。
- ・休憩を入れてほしかった。